

ミラノ便り No.2 2021.7.22



ドイツ、ベルギーを中心に発生している洪水被害の状況が日々のニュースを通じて少しずつ明らかになってきています。

お見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧を心からお祈りいたします。

■ Grazie, azzurri. Grazie, Mancini!!

Campioni d'Europa! UEFA EURO 2020 でイタリアが優勝しました!

試合開始は 7/11(日)のイタリア時間 21 時。

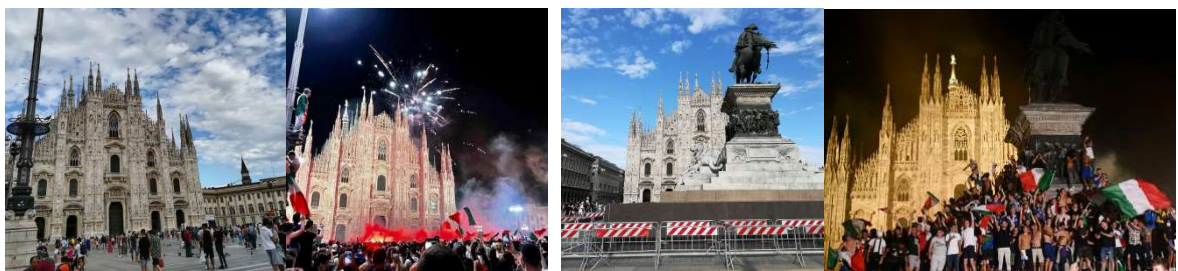
前日の土曜日にミラノのドゥオーモ広場へ行きましたが、お土産屋も国旗・グッズを揃えており抜かりがありません。



前半開始 2 分でイングランドに先制を許すも 1 点を返すイタリア。延長戦でも決着がつかず、勝負は PK 戦へ。段々と脇が重くなってくるのを感じ、翌日の午前中に休暇を取っていた同僚が羨ましく思えてきます。そんなことを考えているうちに気付けば優勝!

53 年振り 2 回目の EURO 制覇です!!

深夜でも打ち上げ花火があちこちで盛大に上がり、大きな国旗を窓から振りながらクラクションを鳴らしている車が次々と通りを走っていきます。この時点で 24 時を過ぎていましたが、車の数と通りに集まってくる人の数は次第に増えていきます。後日知りましたが、ミラノのドゥオーモ広場では大変なことになっていました…。



普段の広場と優勝時の賑わい(参照: MILANO TODAY) <https://www.milanotoday.it/>

今回の EURO をきっかけに幾つかのサッカー用語をイタリア語で覚えることができました。

代表監督は CT (Commissario tecnico)、PK は rigori、オフサイドは fuori gioco。

小見出しの「Mancini」(マンチーニ)とは、Roberto Mancini (ロベルト・マンチーニ)氏。

CT della Nazionale Italiana です。

ご興味のある方はこちらどうぞ。 <https://www.robertomancini.com/it/>

■再ロックダウン？

ワクチン接種状況は30代で2回目が完了している人もいるくらいに進んでいます。

EURO2020 やバカンスによりヨーロッパ圏内の人の移動が活発化したせいか、コロナ感染者報告数が増加傾向にあります。6/28にはイタリア国内での1日の増加人数(incremento)が389人であったのに対し、7/22には5,057人と大幅に増加しています。屋外の行動時もマスクを着用する等、まだまだ油断はできません。

このような状況を受け、特定の地域においてイエローゾーンが再設定される可能性が高いとの話が持ち上がっています。この春までは州単位で黄・オレンジ・赤に色分けし、お店の営業や移動に制約を設けていました。今後の措置が国会で決定されるそうですので、審議の結果が非常に気になるところです。

■ミラノ・ドゥオーモ広場の人出

週末にかけて湖や海へ出かける人が多いせいか、夕方でもこれくらいの人出です。

ドゥオーモは一部改修工事をしており、その屋上へ上るチケットは建物隣にある券売所にて絶賛発売中。

10分ほどの待ち時間でチケットを買うことができました。

7/18(日)夕方



屋上まで251段の石段はさすがにきついで、エレベーターを使う「DUOMO PASS LIFT」チケットを20ユーロで購入。ドゥオーモ内部+地下考古学エリア+屋上テラス見学+ドゥオーモ博物館+サンゴッタルド教会がセットになったチケットです。



↓現在の広場(2021年)とドゥオーモ博物館にあった写真(1905-1906年)の比較



■いよいよ東京オリンピック・パラリンピック

東京オリンピックのニュースを目にする機会が増えてきました。選手団の空港到着、コロナ検査の様子、キャンプ、開催反対のデモ運動などなど。テレビから「TOKYO!」と聞こえると、ついつい首がテレビの方を向きます。

1998年の冬季長野オリンピックでは、「一校一国運動」が国際理解および親善に向けた活動として展開されました。今回の夏季東京オリンピックでもアスリートとの触れあいが計画されていたものの、コロナの感染防止措置でやむなく縮小又は中止されたと聞きました。

各予選を勝ち抜いた選手等が本大会でベストを尽くすためのスケジュールへの影響が懸念されますが、出場選手が安全に競技に集中できる体制作りはどうでしょうか。

EURO2020では決勝戦でPKを外したイングランドの選手が非難される残念な事件がイングランドで発生しました。日本でも出場選手へのバッシングやスポンサー企業への非難も一部あるということです。当初から問題となっている「誰のための大会か」という意義が問われそうです。

先日、サンシーロ (San Siro)スタジアムのツアーへ参加した際、選手のロッカールームからピッチへのコースを見学できました。その地下通路では試合時の歓声がスピーカーから流れており、ツアー参加者をワクワクさせる演出はさすがです！

ツアー客しかいない静まり返ったグラウンドに選手と同じ目線で立ってみると、東京周辺で開催される無観客競技場での選手のパフォーマンスへの影響がふと気になりました。



ピッチに入っの PK 体験は 1 回 20€, 3 回 50€

今となってはですが、開催国の安全責任を果たすべく、国民への協力要請はどうだったか。マスクの配布やコロナ対策への「お願い」がそれに相当するものと考え、夏が終わった時に良い思い出として残る大会であって欲しいと願っています。イタリアでも開会式が生放送されるというので楽しみにしています。

■ スポンサーの話

そのオリンピックについて、チームイタリアのオフィシャルパートナーになっているのが大手小売業のエッセルungaです。ロゴは横長のS。同僚曰く、エッセがルンガなのです。



福利厚生や労働環境にも配慮が行き届いているため、このスーパーマーケットでの勤務は応募倍率が高く大変な人気職だそうです。

イタリア代表のオリンピックグッズも店内で販売されていますが、ハリーポッターより少し大きい程度・・・Forza Italia!! グッズを手にとっている買い物客は私くらいでしたので、注目度はそれほどなのかもしれません。EURO2020 もイタリアの優勝で締めくくったところでのバカンスシーズンですし。

一方、隣国フランスは 2024 年の開催国であることから東京オリンピック支持派らしく、早くもそちらへの期待が高まっているという声も耳にします。



0.99 ユーロで選手紹介？ノートを買いましたので、これを見ながらチームイタリアを応援することにします。



2021年7月22日